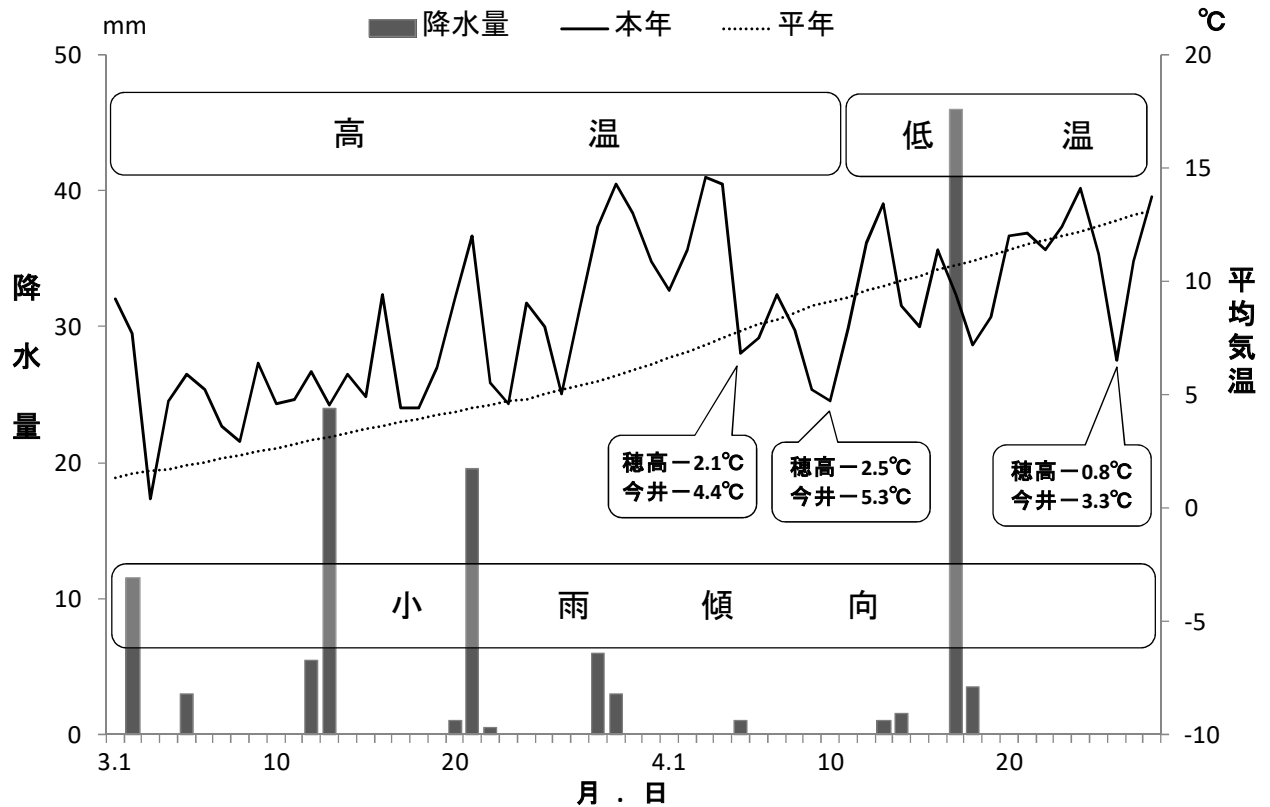


令和3年 作物技術普及情報 第6号

(麦の生育状況・成熟期予測について)

令和3年 気象経過(穂高アメダス 3月1日~4月28日)



1 気象状況

4月26~27日も氷点下を記録するなど、依然として低温傾向が続きました。

2 麦の生育状況

- 4月28日現在、生育の良好な圃場の現在の生育ステージは、以下の通りです。

【大 麦】 出穂期（管内の出穂期は4月20日～4月30日。ピークは4月25日頃）
【小 麦】 止葉展開期～出穂始め（管内の出穂期は5月連休後半を見込んでいます）

生育は平年より4日前後早いと思われませんが、4月の低温で当初より生育が遅れてきました。

松本市島内の定点圃場では、大麦の出穂期は4月24～25日で平年より4～5日早ですが、小麦は平年より2～3日早になりそうです。

- 5～6月の気温は平年並みから高いと予想されており、大麦の成熟期は平年より早く、5月末～6月初旬より成熟期を迎えると予想されます。

出穂後の積算気温による成熟期の推定を開始しますので、ご活用いただき、コンバインや乾燥施設の稼働準備を早めに進めるようお願いいたします。

なお小麦は出穂前なので成熟期の推定は参考としてお使いください。

- 成熟期は麦の生育状況や今後の気象状況で前後します。
今年のように凍霜害を受けた圃場や干ばつを受けて根の生育の劣る圃場、極端なやせ地では予想より成熟期が早まることがあります。

また、登熟期間中に気温が高く、降雨の少ない状況が続くと、予想より成熟が早まる可能性があります（例 平成27年）。

今年は収穫開始のタイミングがポイントになると思いますので、圃場の生育状況にはご注意ください。

【参考】 登熟積算気温による大・小麦の成熟期の推定(4月28日現在)

成熟期までの積算気温を大麦は650~700℃、小麦は850~900℃として推定しています。
 平均気温は穂高アメダス値です。4月28日までは本年値、以降は平年値を用いています。

月日	平均気温	大 麦			小 麦		
		4月20日出穂園場					
4月20日	12.0						
4月21日	12.1		12				
4月22日	11.4		24				
4月23日	12.4		36				
4月24日	14.1		50				
4月25日	11.2		61	4月25日出穂園場			
4月26日	6.5		68				
4月27日	10.9		79				
4月28日	13.7		92				
4月29日	13.3		106				
4月30日	13.6		119	4月30日出穂園場			
5月1日	13.8		133		14	5月1日出穂園場	
5月2日	14.0		147		28	14	
5月3日	14.3		161		42	28	
5月4日	14.5		176		57	43	
5月5日	14.6		190		71	57	5月5日出穂園場
5月6日	14.8		205		86	72	15
5月7日	14.9		220		101	87	30
5月8日	15.0		235		116	102	45
5月9日	15.3		250		131	117	60
5月10日	15.2		266		146	133	75
5月11日	15.3		281		162	148	91
5月12日	15.3		296		177	163	106
5月13日	15.4		312		192	179	121
5月14日	15.4		327		208	194	137
5月15日	15.5		343		223	210	152
5月16日	15.6		358		239	225	168
5月17日	15.7		374		255	241	183
5月18日	15.8		390		270	257	199
5月19日	16.0		406		286	273	215
5月20日	16.1		422		303	289	231
5月21日	16.2		438		319	305	248
5月22日	16.4		454		335	321	264
5月23日	16.5		471		352	338	280
5月24日	16.6		487		368	354	297
5月25日	16.8		504		385	371	314
5月26日	16.9		521		402	388	331
5月27日	17.1		538		419	405	348
5月28日	17.2		555		436	422	365
5月29日	17.4		573		454	440	382
5月30日	17.5		590		471	457	400
5月31日	17.7		608		489	475	418
6月1日	17.9		626		507	493	436
6月2日	18.0		644		525	511	454
6月3日	18.2	成	662		543	529	472
6月4日	18.3	成	680		561	547	490
6月5日	18.5	成	699		580	566	509
6月6日	18.6		718	成	608	585	527
6月7日	18.8		736	成	636	603	546
6月8日	18.9		755	成	664	622	565
6月9日	19.0		774		692	641	584
6月10日	19.1		793		720	660	603
6月11日	19.2		813		748	680	622
6月12日	19.4		832		776	699	642
6月13日	19.5		851		804	718	661
6月14日	19.6		871		832	738	681
6月15日	19.7					758	700
6月16日	19.8					778	720
6月17日	19.9					797	740
6月18日	20.0					817	760
6月19日	20.1					838	780
6月20日	20.2					858	800
6月21日	20.3					878	821
6月22日	20.4					898	841
6月23日	20.5					919	862
6月24日	20.6					940	882
6月25日	20.8					960	903
6月26日	20.9					981	924
6月27日	21.0					1002	945
6月28日	21.1					1023	966
6月29日	21.3					1045	987
6月30日	21.4					1066	1009

(1) 麦の凍霜害について

- 葉先枯、葉の黄化、株の生育抑制、幼穂枯死、圃場内の出穂遅延(出穂ムラ)が発生しています。

センターの調査では、被害を受けた圃場は、梓川・奈良井川・犀川等の河川ぞいや、高速道路ぞいで多いように思われ、幼穂枯死の多い圃場や黄化の著しい圃場が確認されています。

凍霜害の程度が明らかになるのは出穂後になりますので、今後の生育状況を巡回等で確認していただき、特に黄化が目立つ圃場は注意いただくようお願いいたします。

(2) 麦の追肥作業について

- 5月連休よりパン用品種「ゆめかおり」の追肥適期を迎えると思われ
ます。追肥量・追肥時期の注意点は技術情報4号をご覧ください。
- 凍霜害が目立つ圃場は穂数が少なく、基準以上にタンパクが高くなる
ことが予想されます。このため凍霜害が目立つ圃場では基準量より追
肥量を減らす対応をお願いします。

注) 一施肥二鳥や追肥一発肥料を使用した圃場は追肥は不要です。

2 水稻の育苗管理

- ・ 4月25日頃より田植え作業が始まりましたが、これから育苗ハウ
ス内は高温となりやすい時期です。向こう1か月の予報でも、平均気
温は平年並みか高いと予想されています。

代かき、田植え等の圃場作業が忙しい時期になりますが、高温によ
る苗ヤケやムレ苗を防ぐため、ハウス内の換気を十分行い育苗管理を
徹底されるよう、ご指導をお願いします。